

令和5年度 第3回教育行政評価委員会 会議概要

開催日時：令和5年10月5日（木）午前10時～12時

開催場所：伊賀市役所 4階 庁議室

出席委員：藤本久司委員長、加納圭子副委員長、伊室春利委員、西嶋克司委員、
岡山恵美子委員

事務局：谷口教育長、滝川教育委員会事務局長、川北教育総務課長、藤山教育
総務課主任

傍聴人：0名

あいさつ

- *滝川事務局長あいさつ
- *藤本委員長あいさつ
- *委員会成立報告

1 第2回評価委員会の会議概要について

- 第2回教育行政評価委員会の会議概要【資料1】を説明、確認。

2 協議事項

(1) 令和5年度教育行政評価の調整協議について

- 令和5年度教育行政点検評価報告書（案）について【資料2】

第2回委員会で協議を行った事業に対する評価委員からの評価・意見等を所属ごと、努力目標単位で取りまとめた「教育行政点検評価報告書（案）」【資料2】を基に意見交換、調整を行った。

3 その他

意見交換、調整を行った「教育行政点検評価報告書（案）」について、字句の修正等、最終確認と、第3回の会議概要の確認を委員長に一任することが了承された。

事務局より、学校みらい構想についての説明を行った。

閉 会 12時00分

議事概要

【事務局】ただいまより令和5年度第3回伊賀市教育行政評価委員会を始めさせていただきます。委員の皆さまには大変お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは会議に先立ちまして、事務局長の滝川よりごあいさつ申し上げます。

【事務局長】日ごろは伊賀市の教育行政にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。本日は大変お忙しい中、委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

数日前の猛暑から急に季節が進み、朝晩は涼しいを乗り越して寒いかなと思う季節になってまいりました。皆様には体調を崩さないようご自愛いただきたいと思います。

本日は3回目の委員会となりますので、本年度の最終となります。これまで2回のご意見、ご指導をいただいたものを参考に確認をしていただき、完成させていただきたいと思います。この会議につきましては評価、点検を行うことで次年度に向けた課題や取り組みの方向性を明らかにして、効率的に進めるとともに市民への説明責任を果たして市民に信頼される教育行政を推進するという目的にしておりますので本評価によりまして次年度の取り組みが成果、効果あるものになるように取り組んでいきたいと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】続きまして、藤本教育行政評価委員長からごあいさついただきたいと思います。

【委員長】改めましておはようございます。3回目ということで、しかも3年目の3回目ということですので任期の最後の会議になると思います。この間、コロナ等の事情もあって、ゆっくり落ち着いてお話しする機会がなかなか無く、委員の皆様もいろいろな経験や知識をお持ちの方ばかりで、もう少し直接お話しする機会があればよかったと思いながら3年が過ぎてしまいました。機会があれば是非同じ市内に住んでいますのでご親交のほど、よろしくお願い致します。また事務局の皆様には、会議がしやすいようにまとめていただいたことに感謝しています。いろいろな意味で最終的に良い評価となりますように今日も有意義な議論を進めていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

【事務局】ありがとうございました。次に会議の成立報告と委員のみなさまへのお願い事項について説明させていただきます。

(6名のうち5名の委員の出席により会議が成立)

(会議の公開、傍聴、報道関係者の撮影等の了解)

(会議録作成のための録音と会議録の公開の了解)

(資料確認)

本日は、委員の皆様から頂戴しました評価についてご確認をいただき、補足を

いただきながら取りまとめをお願いしたいと思っております。

それでは議事に進めさせていただきます。以降の進行につきまして藤本委員長様、よろしくお願ひいたします。

【委員長】それでは、事項書に従いまして進めさせていただきます。事項書 1 番、「第 2 回評価委員会の会議概要について」事務局からお願いします。

【事務局】資料 1 をご覧ください。9 月 4 日に開催しました、第 2 回教育行政評価委員会の会議概要です。1 ページには、会議の事項を項目ごとに記載しています。事項 1 として第 1 回委員会の会議概要について、事項 2 の協議事項として令和 5 年度の事務事業の評価についてと今後の予定の概要を記載しています。2 ページからは議事概要となっており、3 ページ中段以降は意見のまとめ案についての主な意見を記載しています。ご確認いただき補足や修正があればよろしくお願ひします。

【委員長】補足等はいかがでしょう。無いようですのでそれでは、続きまして事項書 2 番協議事項に入ります。「(1) 令和 5 年度教育行政評価の調整協議について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】資料 2 をご覧ください。第 2 回教育行政評価委員会で協議いただきました「事業に対する評価委員からの評価・意見等」を所属ごと、努力目標単位で、「教育行政点検評価報告書(案)」としてまとめてあります。表紙の次のページの「点検評価及び評価の概要」につきまして、「3. 総評」は一旦昨年度のものをそのまま転記してあります。所属ごとに内容について意見交換していただき、評価・意見としてまとめていただきたいと思います。

(各所属別の努力目標に対する事業の評価・意見等についての案を読み上げ、内容を確認。以下主な意見等)

○評価の概要

【事務局】総評については一旦昨年度と同じ内容を記載していますので、ご協議をお願いします。

【委員長】たしか 1 年目と 2 年目も少し文章を変えたと思っております。今年が大きく変える要素は無かったと思いますがいかがでしょうか。

【副委員長】社会情勢という内容は、4 年度のことですね。アフターコロナにはならないですね。

【事務局】ご意見のとおりです。

【委員長】このままで今回はよろしいでしょうか。コロナの最後の年になります。ご意見がなければこのままでお願いします。

○教育総務課・学校施設室

【委員長】施設整備事業等の推進で「今後も教育環境の整備に努められたい」の文章が非常に一般的で、言葉が包括的になっていますが、何か特定の意味がなかったのでしょうか。

【事務局】施設を含めた全般的な教育環境の整備という意見と考えています。

【委員】具体的なことを指摘しているものではありません。総論としての意見

です。環境整備というのは主に施設整備になると思います。

【委員長】上には具体的にトイレに関することを記載しており、その他のことも課題が出てきたら整備に努めてほしいといった意味でどうかと思います。意見がなければこのままの記載でお願いします。

○学校教育課

【委員】1・21番の意見で「拓かれた学校づくり」の「拓かれた」の漢字は「拓」を使っていますが。

【副委員長】私は心身ともにひらくということで「拓」を使っています。拓かれた学校づくりという意味で、学校で使っていました。

【事務局】学校教育課からの事業内容では、オープンの「開く」を使っています。

【副委員長】事業概要に合わせた方がいいと思います。意味は一緒なのでオープンの「開く」でお願いします。

【委員】6ページの2つ目も同じように「スタートに就こうと」の「就く」の漢字もここでは使わないように思います。何か特別な意味がありますか。なければひらがなでいいと思います。

【委員長】ひらがなに修正をお願いします。その次の意見で「最重要です」とありますが他の表現と揃えて「最重要である」に修正してください。14番の意見で「英検50%を目指す」とありますが、これは受験率ではなく3級以上の合格率についてのことであったと思います。

【副委員長】これは市が支援している中学校3年生のことになります。1、2年生は自由参加になっています。

【事務局】「中学校3年生における英語検定3級以上の合格率」に修正します。

【委員長】1番最初に戻りますが、「9割以上は素晴らしい」とありますが、気持ちを表す言葉が突然出てきていますので「評価したい」に修正をお願いします。

【事務局】20番の学校給食の充実に関する記述で「学校栄養士教諭」とありますが正しくは「学校栄養教諭」ですので修正をお願いします。

【副委員長】13番の2つ目の記述で中学校卒業後の進路について、中学校でできることをという意味なので、このままでは少し意味合いが違ってしまうので「中学校卒業後」という言葉を「適切な進路選択」の間に入れていただき、「適切な中学校卒業後の進路選択が」に修正をお願いします。このままでは中学校卒業した後もやっっていく意味になると思います。

【委員長】ご指摘のとおり修正をお願いします。

【副委員長】質問ですが、2つ目の項目で、タブレットで使用する「アプリケーションやコンテンツを常に最新と」とありますが、これは学校教育課で行うのですか、教育総務課で行うのですか。

【事務局】アプリケーションとコンテンツだけを言いますと教育総務課の予算での対応となります。先生がしていただくことではなくソフトをアップデートすることは教育総務課になります。

【副委員長】教育総務課がGIGAスクールで学習支援を行ったということはそういう意味での環境整備ということですか。

【事務局】基本的には委託業者にアップデートをお願いしている予算は教育総務課です。

【副委員長】学校教育課ときっちりと連携してということですね。そこは言わなくてもわかることですね。

【事務局】その通りです。教育総務課と委託業者と連携し、現場の声を学校教育課の指導主事の先生が委託業者や教育総務課に伝えています。

○生涯学習課

【委員】1番の社会教育の推進で「少数派」の「派」というのは人の意見とか数を表すので、日本中の行政の中で18歳成人式をしているのは少ないという意味だと思うが「派」というのはどうでしょうか。

【委員長】全国的に少ないという表現でいいと思います。18歳成人式は3つぐらいの自治体だけだったと思います。

【委員】言葉として文章に書いてどうかと思いますが。

【委員長】特に「派」をつける意味もないと思いますので「全国的に少数である」に修正をお願いします。

【事務局】2番の生涯学習推進体制の充実で「指導者としての」とありますが立場として、今は「支援をしている」という位置づけになっていますので意見ををお願いします。

【委員長】「支援する立場として」ということでいかがでしょうか。

【事務局】活動のサポートを充実してもらうといった意味合いでどうでしょうか。指導者でなかったら支援者としてもいいと思いますが。

【委員】支援員といっても実際、現場では指導者です。公民館活動の指導的な役割をこの支援員に託されている。指導者という言葉が使えないのであれば「自覚を持って」という程度は必要を思います。

【事務局】「指導者」を「支援員」に変更することでもいいと思います。

【委員長】「いただく」という敬語になっていますが「もらう」でいいと思います。

【委員】「生涯学習支援員は」を「生涯学習支援員には」に、「配属される」はすでにされているので「配属された」に修正をお願いします。

【委員長】次の3つ目、6番で「協力体制を強化されることを」となっているのを「協力体制が強化されることを」に修正してください。

【事務局】「子供読書実践活動」の「子供」は平仮名でなくてもよろしいでしょうか。

【委員長】何か単語であれば漢字でもいいと思いますが。

【委員】上野図書館の活動では、漢字を使っています。生涯学習の活動はどうでしょうか。

【事務局】一度確認して必要であれば修正します。

【副委員長】次の7番の「偏見なども」は何に対しての「も」なのか、「学習の機会の拡充」は「学習の拡充」で良いと思います。

【委員長】ここでは、最近増えてきたということに対しての「なども」と思います。

【副委員長】「などが」でいいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】「が」であれば言い切ったことになります。

【副委員長】ほかにもあるという意味合いであればそのままお願いします。

○教育集会所

【副委員長】記載で教育集会所全般と書いているものとそうでないものの違いは何ですか。

【事務局】書かれていないものは、努力目標は一つになっていますが、事業概要の項目として掲げているものに対して意見をいただいたものを記載しています。全般と書いているものは、地区学習会などほかの事業も含めて教育集会所の事業に対しての意見としていただいたものを記載しています。努力目標が一つなので全てが全般の意見としてもいいと思います。

【委員】全般という表現は必要ないと思います。

【事務局】「(教育集会所事業全般)」を削除します。

○文化財課

【委員】指定管理の4館とはどこですか。

【事務局】崇廣堂、入交家、小田、城之越です。大山田は直営です。

(修正なし)

○上野図書館

【委員】1番の「感謝したい」は「評価したい」がいいと思います。

【委員長】その後の「認識いただき」は「認識し」で通じると思います。

【事務局】「評価したい」「認識し」に修正します。

【委員長】3番の1つ目ですが、「本の貸出返却に行く時間、現場での実施の努力を」とありますが、文章として何か抜けているように感じますが。

【事務局】最初にいただいたご意見で「コロナ禍の中」となっていたものを「中」は必要ないということで削除し、「コロナ禍」に修正しただけで、その他はいただいた意見そのままとなっています。

【委員】消毒したりする行動自体が非常に大変なのでこういった表現にしていますが文章としてうまく表現ができていないかもしれませんので別の表現でもいいと思います。足を運んで貸し出しをして、期限が来るので返却しなければいけないという感じなのですがどうでしょうか。本は学年によって選ばないといけないし、その繰り返しで、それらのことをボランティアでするということがすごく大変だと思います。

【委員長】そういった努力を評価したいということですね。

【委員】「貸出返却業務等」としてはどうですか。ボランティアも含めて貸出業務等がコロナ禍であったのでその努力を評価したいということではないのですか。

【委員】図書館側ではなく、ボランティア側の気持ちで、読み聞かせ会等の実施ということで書いています。

【委員長】「ボランティア団体」という表現を入れた方が分かりやすいと思います。

【委員】3つ目の意見と同じような意味合いになる感じもしますが。

【委員】学校とかに行くボランティア団体と書いていただければと思います。

す。

【委員長】読み聞かせボランティア団体のことであると思われるような表現にしてはどうでしょうか。今のままでは読み聞かせということが分かりにくいと思います。

【委員】最初に小学校の読み聞かせ活動についてと入れればどうでしょうか。

【事務局】「小学校の読み聞かせ活動について、コロナ禍、感染対策を行いながら本の貸出返却に行くなど、現場での実施の努力を評価したい」でどうでしょうか。

【委員】図書館に貸出返却に行くことが分かってもらえるでしょうか。

【副委員長】コロナ禍で感染対策を行いながら、本の貸出返却に行く時間などに苦慮したということですね。そこを克服した現場を評価してくれているのですか。

【委員】そこを乗り越えながら現在に至っています。

【副委員長】指標の実績値には、学校は入っていないように思いますが。

【事務局】学校へ読み聞かせに行っているボランティア団体さんがコロナ禍で大変であったのに頑張ってくれたので評価したいということですね。

【委員長】最初に読み聞かせボランティアを入れて、感染対策を行いながら本の貸出返却など現場での実施の努力を評価したいでどうでしょうか。

【事務局】「小学校での読み聞かせボランティア団体がコロナ禍、感染対策を行いながら、本の貸出返却に行く時間など、現場での実施の努力を評価したい」と修正します。

【委員長】3番の4つ目の意見で「図書館に行ってください」とあるのを「行ってもらう」でいいと思います。関心を持って図書館に行ってもらうためとしても同じでしょうか。

【委員】図書館に行く意欲を持つためには図書館に魅力がなければならぬと思います。図書館に魅力を課すためには企画展示が重要だと思います。

【委員長】文章として入れ替えなくてもよろしいですか。

【委員】特に問題ないと思います。

【委員長】「行っていただく」を「行ってもらう」に修正をお願いします。他いかがでしょうか。

【副委員長】生涯学習課の「LGBTQ」について、プラスを付けるかどうか、確認して必要ならば付け加えてください。

【委員長】他なければ各課の分は終了とします。本日、活発な意見をいただき、評価、意見等をまとめていただきました。微細な修正等につきましては、委員長に一任頂き、意図は変えないようにしますのでご了承いただきますようお願いいたします。それでは進行を事務局お返しします。

3 その他

【事務局】事項書の1番、2番につきましてご協議いただき、ありがとうございました。報告書については委員長に最終確認いただき、完成させたいと思います。合わせて本日の議事概要につきまして委員長に確認いただき、ホームページで公表させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(承認)

その他の項で委員の皆様から何かございますか。

無いようですので、事務局から少しお時間をいただいて、これから教育委員会が取り組む「学校みらい構想」についてお話をさせていただきたいと思います。

(別途配布資料にて説明)

今後、様々な場面で皆様のご意見やご協力をいただくことなると思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは閉会にあたり、谷口教育長よりご挨拶させていただきます。

【教育長】皆さん、ありがとうございました。3回にわたって細かいところまで評価をいただきありがとうございました。皆さんには3年間、評価委員として大変お世話になりました。任期としては一旦終わるわけですが、この3年間はコロナで今まで経験したことない大変な3年間でした。特に1年目は学校も休みになる、いろいろな活動もできない中でスタートをして、2年目はやっと少しできるようになって、令和4年はコロナであるけれども、いろいろなことを進めていこうと少し戻してきました。今年についてはいろいろな形でほとんど戻ってきていることになりましたが、令和4年の時には、やりだしたら広がるといったこともあって、難しい状況でもありました。学校や公民館、図書館も難しい状況の中で運営をしてきた状況です。そういった中で評価をいただきましたので、この評価をもとに来年度の予算に反映しながら行政改革をしていきたいと考えています。さらには学校みらい構想ということで子どもたちがどんどん減る中で、もう一度、校区の再編から考えていく必要がある時期に差し掛かってきています。時代も変わって、直接ではなくDXの中でいろいろなことができるようになってくる、人口減少が進み、地域も高齢化が進む中で公民館として、もっと身近なところで学習会など公民館活動をしていくということで、地域でやっていただくように変えてきている状況です。これからはいろいろなところで変えていく部分と大事に残していく部分が教育委員会の行政の中にあると思っています。人権同和教育の部分を見ても状況も変わってきているところもありますが、これまで大事にしてきた事を残していく部分と組織上変えていく部分が出てきています。学校についても、今まで学力、人権、キャリアというふうに進めてきましたが、その中身が大きく変わってきています。人権教育をする場合でも保護者から同じことをやっているといった声もいただいており、時代に合って子どもや保護者のニーズにも合った人権教育をやっていく必要があると思っています。大事にしなければならないのは差別をなくすという思いを持っていくということです。保護者の生活も差ができていくということで、福祉的な部分で家庭を支援していく必要もあって、プラットフォームをきっちりとつくらなければならないので今年から給食の無償化も始めました。これぐらいの市の中で給食の無償化をしているところはほとんどありませんが、やっていく必要があるということと、就学援助も他の市町と同じ、あるいはそれを超える援助を出していくことも進めています。困っている家庭の中で奨学金も多くの家庭にいきわたるように見直す必要があるとご指摘もいただいています。教育委員会としましては、コロナ禍で大きく時代が変わったこともあって、大事にしていかなければならない部分とこれからいろいろな部分で変えていかなければならない部分を変えていこうと思っています。そのためには私たちだけではなく、市民の理解を得なければいけませんし、計画をつくり

ながら進めていきたいと思っています。これからいろいろなことを変えていく中で、評価委員の皆さんも今後お世話になると思います。皆さんからもご支援、ご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。引き続きいろいろな形でお世話をいただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。3年間、本当にありがとうございました。

【事務局】それではこれをもちまして、令和5年度 第3回教育行政評価委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。